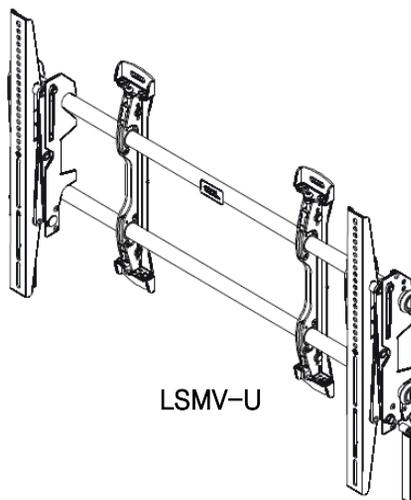
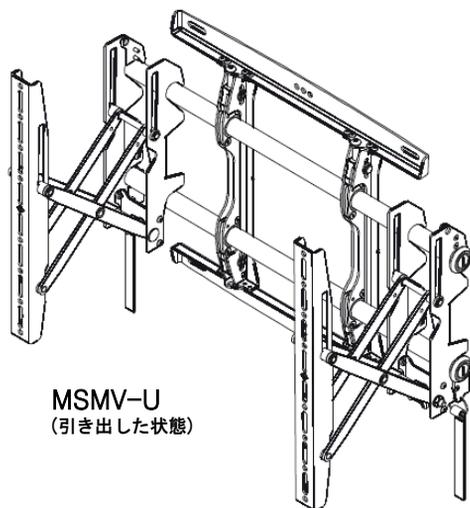


引き出し式マルチ大型・中型FPDマウント 型番 MSMV-U/LSMV-U



このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せる様に保管してください。

必ずお守りください

壁掛け設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、取り付け場所の強度には、少なくともディスプレイおよび金具の合計重量の5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
- 作業は必ず2人以上で行ってください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。

安全上のご注意**ご使用の前に必ずお読みください****⚠ 警告と注意！**

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

作業は必ず2人以上で行ってください。不十分な人員での作業はけがや破損の原因となります。

⚠ 警告

部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

⚠ 警告

取付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり非常に危険です。

⚠ 警告

ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また壁に取り付ける固定ネジは付属しておりません。壁の材質や構造に適合したネジをご使用ください。

⚠ 警告

開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、けがの原因となります。

⚠ 警告

作業中ピンチポイントに注意してください、指をはさまないようにご注意ください。

⚠ 警告

ディスプレイの取付作業が行うとき以外、ラッチが確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。また、ケーブルの取付作業を行うときは、必ずラッチでディスプレイを固定してください。

⚠ 注意

運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設置の前に

■設置場所について



- 壁面は総合荷重に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐え得る施工を行ってください。
- 設置の前に、壁掛けユニットとディスプレイの質量を確認のうえ、壁面強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行ってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な壁面への直接取り付けは行わないでください。幅木や受け木、天井吊り金具には取り付けしないでください。
- コンクリートの壁に取り付ける場合は、総合荷重に十分に耐えるアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行った場合、ディスプレイが落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、じゅうぶんな強度を持ったものをご用意ください。

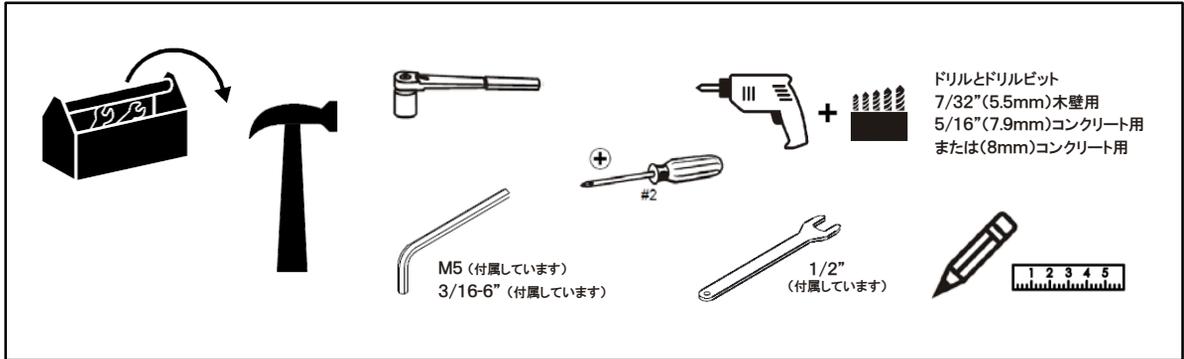
本取扱説明書の安全上のご注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイの壁面への適切な設置場所を決めて下さい。

図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を必要に応じて行ってください。

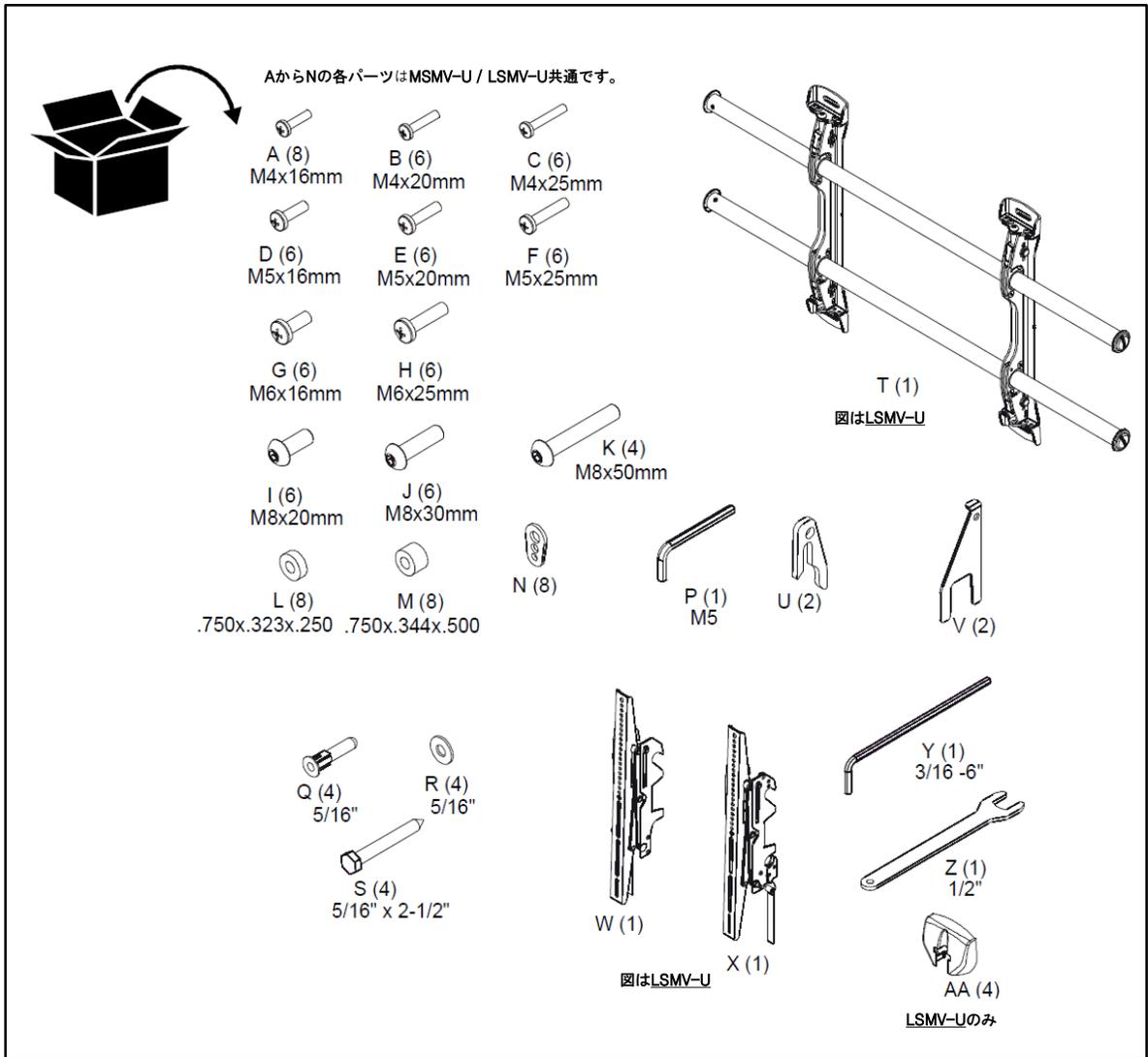
壁面の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。

壁面マウントを壁面にしっかりと取付けてください。壁面マウントの取付穴上下各2カ所以上にバランスよく施工してください。

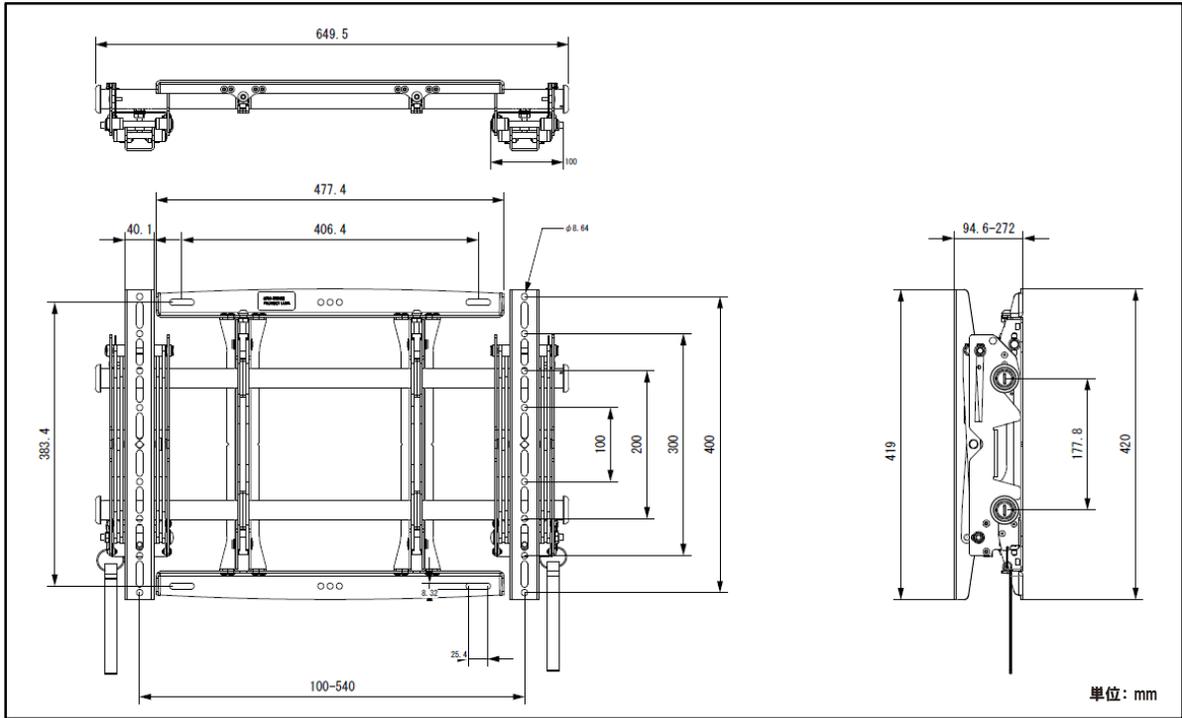
必要な工具



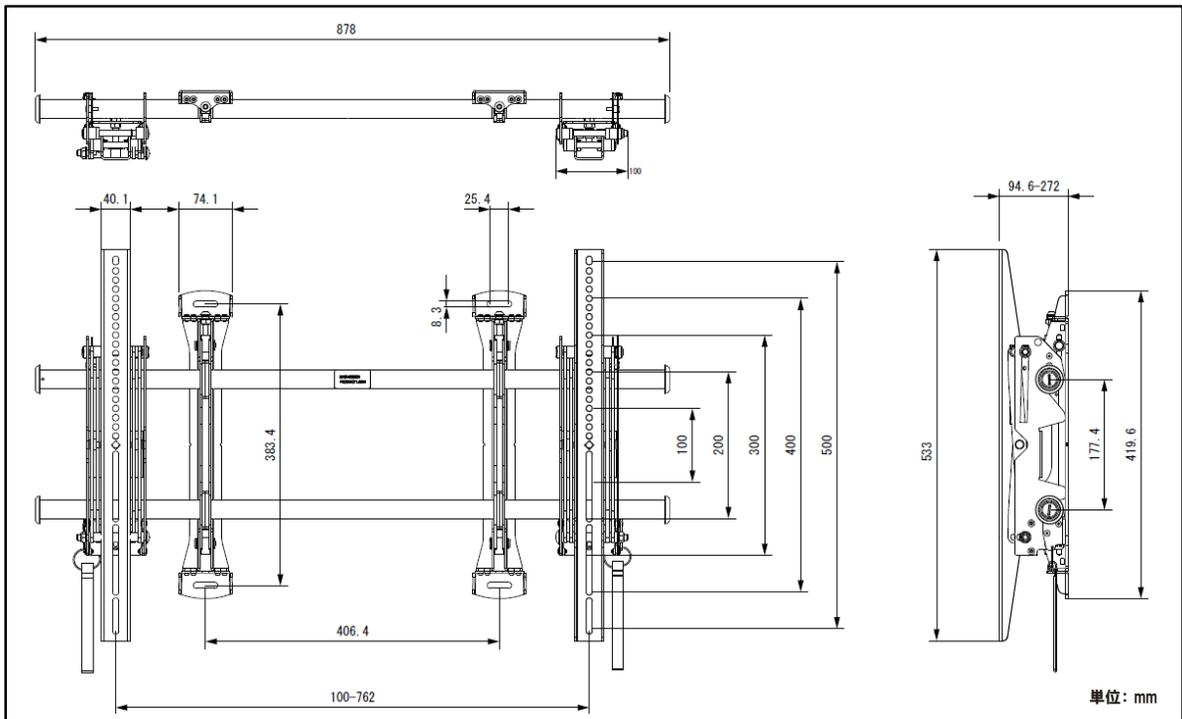
同梱部品



■MSMV-Uの寸法図

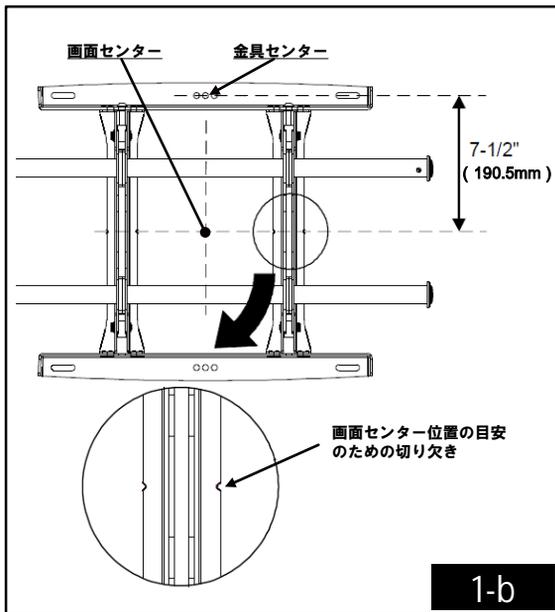


■LSMV-Uの寸法図

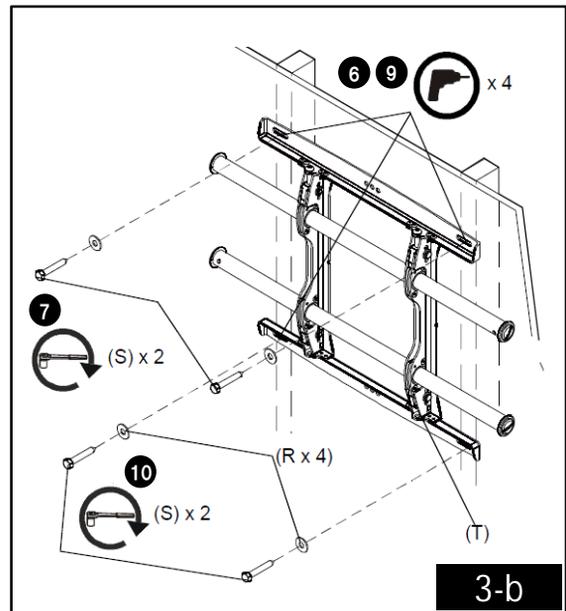
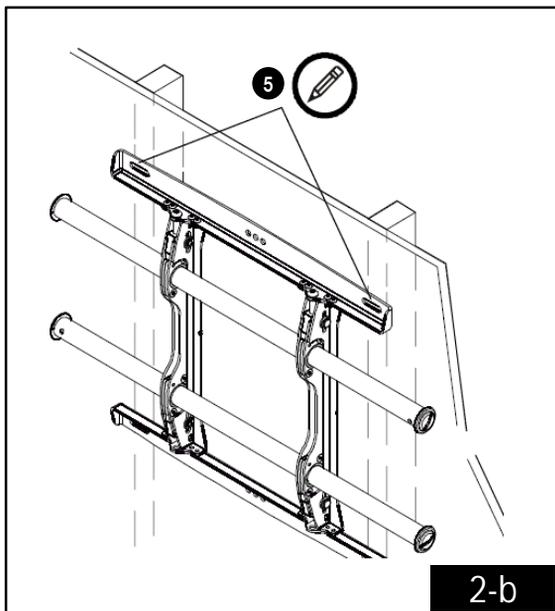


壁面固定は、壁補強位置に合わせて長穴の範囲で設置可能ですので、左右の位置微調整が可能です。

■壁面にマウントを取り付ける (MSMV-Uの場合)



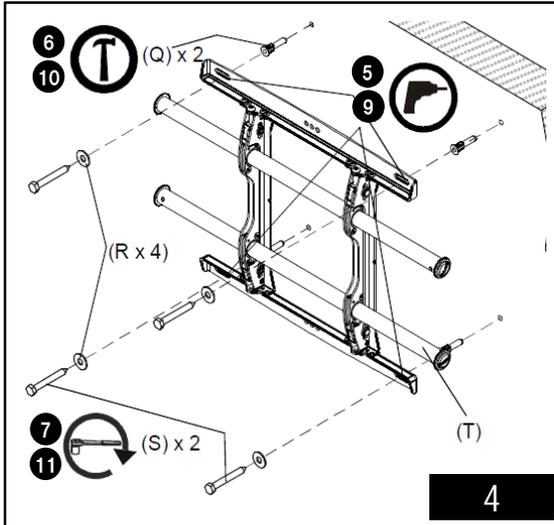
- ・標準的な取り付け方向は、壁側マウントのアジャスター（最終ページ・図9）が上側になる方向に、取り付けてください。
マルチ構成で複数台を壁面固定する場合には、下段の列に相当するマウントのアジャスターを、下側にする取付方法もご使用いただけます。
- ・ディスプレイ（画面）センターと、金具センターを合わせてください。
- ・壁面に固定するボルト位置から190.5mm（約19cm）下げた位置がディスプレイの中心の目安となります。
- ・中心位置には左図のようにフレームに切り欠きがあります。
- ・本製品ではディスプレイをマウントに固定した後も、左右に位置を調整することができる特徴があります。
標準的な施工方法では、マウントのセンター位置に固定しますが、壁面の固定位置をずらしたい場合など必ずしもマウントのセンター位置にディスプレイの中心が合致する必要はありません。
- ・左右調整の必要が無く、ディスプレイを固定したい場合は、別途のFCA-101をお求め下さい。



- ・石膏ボードにマウントを取り付ける場合は、背面に図のように壁面の裏側に、補強柱や補強板を入れてください。
- ・補強柱に合わせて鉛筆などで目印を付けてください。

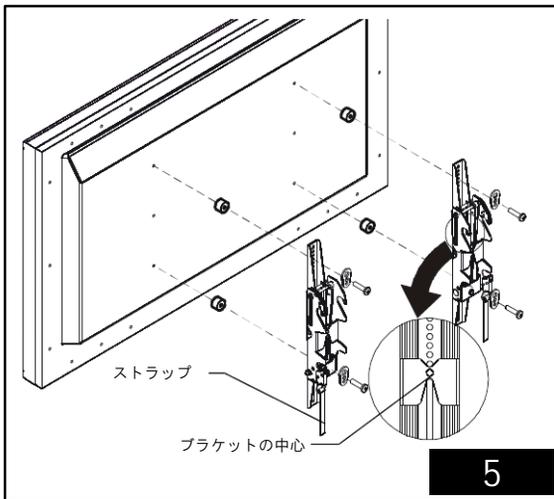
- ・付属のラグボルトはツーバイフォー材用の取り付けビスです。それ以外は、壁材にあった適切なものを選定の上、固定してください。

(前のページからの続き)



- ・コンクリートに固定する場合は、図のように市販のカットアンカーをあらかじめ壁面に取り付けてからボルトで固定してください。
- ・カットアンカーのサイズは”W5/16”（インチ）または”M8”（ミリネジ）のものをご使用ください。

■ディスプレイにブラケットを取り付ける (MSMV-U / LSMV-U・共通)



- ・ディスプレイにブラケットを取り付けるには、図5を参考にストラップが下側になるように固定してください。ブラケットの中心をディスプレイの中心に合わせますと図1の中心の位置が合います。
- ・ブラケットを固定するためのビスはディスプレイの取扱説明書を参考にサイズの適したものを選んでください。サイズの小さいビスで固定する場合には、図のようにワッシャーをご使用ください。
- ・ディスプレイの背面に突起などがある場合には、付属のスペーサーを使用し、ディスプレイとブラケットのすき間をあけます。

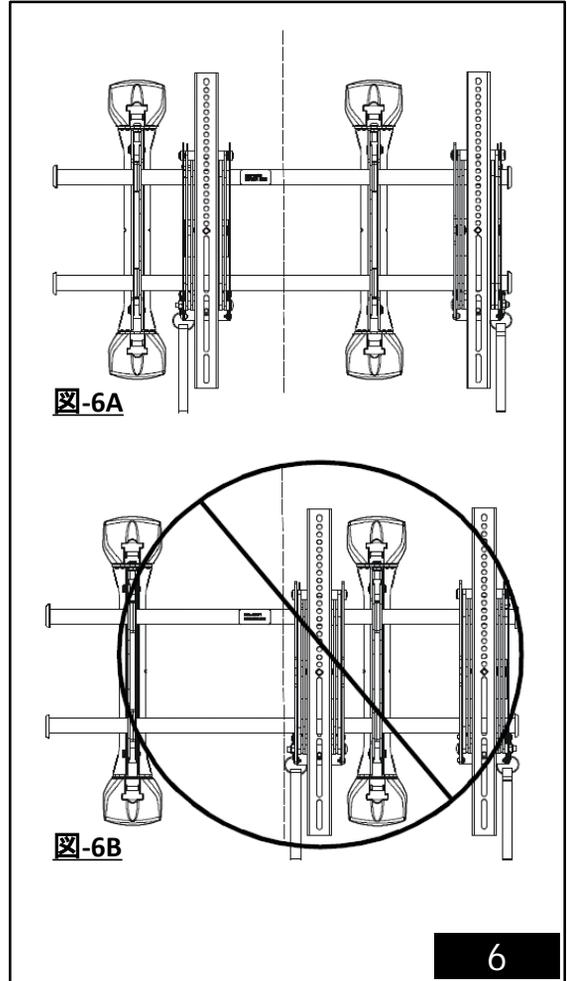


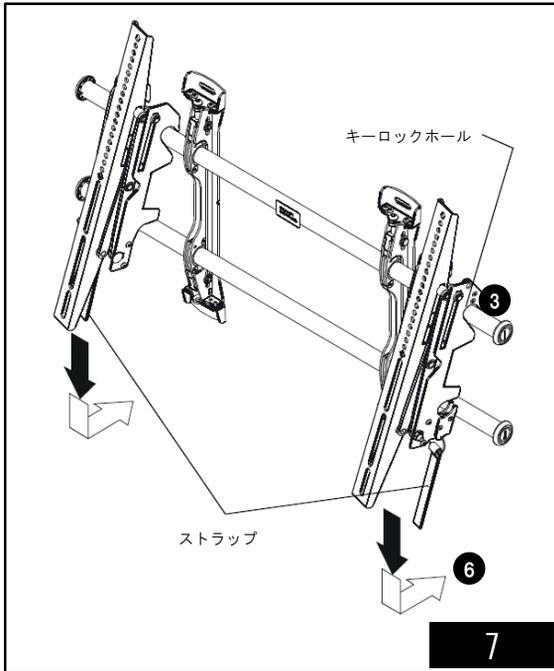
図-6A

図-6B

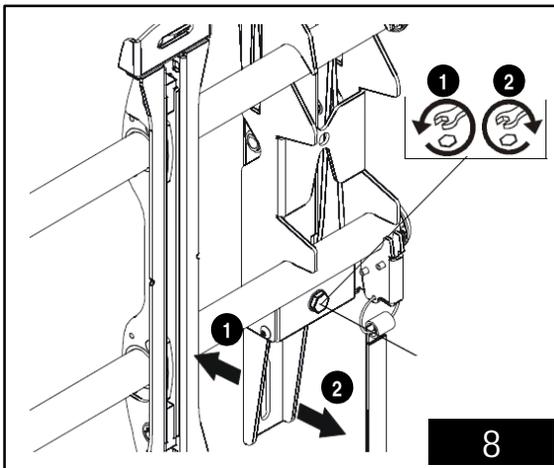
▲ 注意!

- ・壁面マウントにブラケットを取り付ける際、図6Aの様にブラケットが画面センターをまたぐように、左右に振り分けて、取り付けをおこなってください。

図6Bの様に片側に片寄った形で取り付けしますと、壁面マウントの片側のみに重量が掛かってしまい、ディスプレイを取り付けた際にバランスがくずれてしまう恐れがあります。



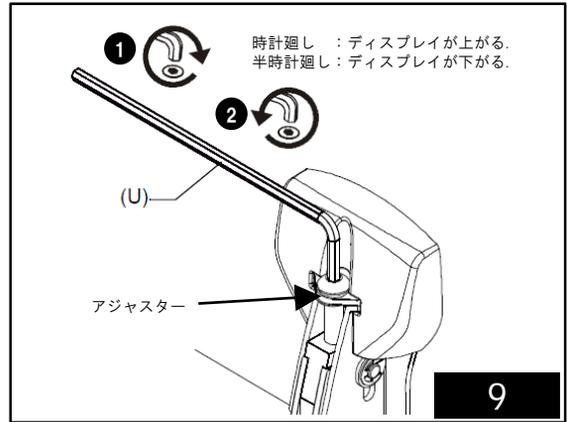
・ディスプレイを取り付けたディスプレイブラケットを、まず③の上側ボールに引っ掛けます。次にケーブル等の接続が完了しましたら、両端のフルストラップを引くと、下側のボールにマウントがセットされます。



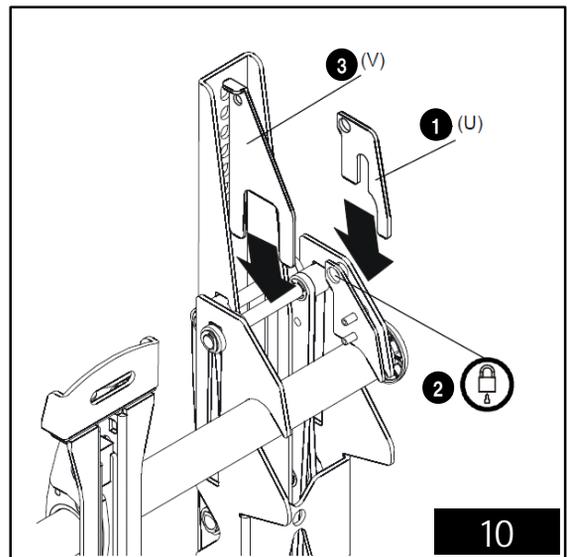
・ディスプレイが自重により前に傾いてしまう場合があります。この様なとき、付属の1/2レンチを用いて、ブラケットの角度を微調整することができます。

→図8のボルトを①の方向に(左に)まわした場合。
→ディスプレイの下側部分が壁から離れていきます。
(前にせり出していきます。)

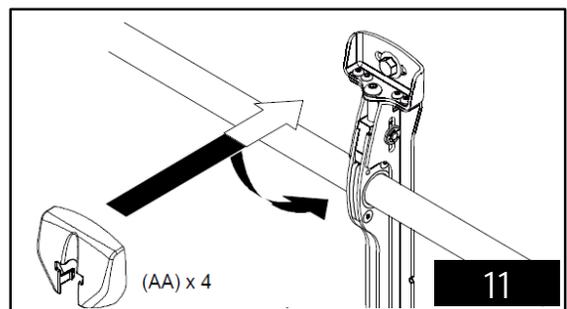
→図8のボルトを②の方向に(右に)まわした場合。
→ディスプレイの下側部分が壁側に近くなっていきます。
(後ろに後退していきます。)



・付属の六角レンチを用いて図のようにディスプレイの水平位置を調整することができます。



・パッドロックを取り付けて、市販の南京錠をセットすることでセキュリティ面での対応ができます。



・化粧キャップ(AA)を取り付けます。

※LSMV-Uのみです。

お問い合わせ

<http://www.avc.co.jp/>

CHIEF 正規輸入総代理店

 **株式会社**
映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

■システム販売事業部

<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階 TEL.03-3527-8660 FAX.03-3527-8666
<関西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25 TEL.06-6836-7827 FAX.06-6310-6144

■本社 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階 TEL.03-3527-8571(代) FAX.03-3527-8580
■大阪オフィス 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25 TEL.06-6836-7591(代) FAX.06-6310-6144
■名古屋オフィス 〒456-0068 愛知県名古屋市中熱田区神野町2-70 TEL.052-684-5031(代) FAX.052-684-5065

[OVERSEAS] GUANGZHOU / BEIJING / SHANGHAI / BANGKOK

※会社名、製品名などは、各社または各団体の商標もしくは登録商標です。
※製品の仕様及び内容は予告なく変更する場合がございます。

Copyright ©2016 Audio Visual Communications Ltd. All Rights Reserved.